

授業科目	高次脳機能障害Ⅲ（臨床）				
担当者	森岡悦子・中谷謙・圓越広嗣				（オムニバス）
実務経験者の概要					
学科名	言語聴覚専攻科	学 年	2年	総単位数	1単位
		開講時期	前期	選択・必修	必修

■ 内 容

本講義では、高次脳機能障害検査で得られた評価情報を基に、障害機序を論理的に考察する能力を修得する。また、障害機序に沿った治療プログラムの立案について学ぶ。

■ 到達目標

1. 検査結果と生活情報から、高次脳機能障害の障害機序を論理的に考察することができる。
2. 障害機序に基づき、リハビリテーションプログラムを立案することができる。

■ 授業計画

- 第1回 高次脳機能障害のリハビリテーション（森岡）
- 第2回 記憶障害の評価とリハビリテーション（森岡）
- 第3回 失認の評価とリハビリテーション（森岡）
- 第4回 半側空間無視の評価とリハビリテーション（中谷）
- 第5回 遂行機能の評価（BADS）の実施手順の理解（圓越）
- 第6回 遂行機能の評価（BADS）の解釈、症状のまとめ（圓越）
- 第7回 遂行機能の評価とリハビリテーション（中谷）
- 第8回 認知症の病型別症状と関わり方（森岡）

■ 評価方法

筆記試験80%、平常点（レポート、小テスト、授業への積極性）20%

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

授業内に示された要点を中心に、よく復習すること。

■ 教科書

書名：高次脳機能障害学 第2版
 著者名：石合純夫
 出版社：医歯薬出版株式会社

■ 参考図書

書名：高次脳機能障害ポケットマニュアル 第3版
 著者名：原寛美
 出版社：医歯薬出版株式会社

■ 留意事項

小テストを含む試験時に不正な行為があったと認められた者については、規定に定める第16条を適用し、当期科目の全ての試験を無効にする。

■ 講義受講にあたって